

2018年3月8日の経営会議の概要

日時 : 2018年3月8日(木) 午前9時00分~午前10時20分
会場 : 政策会議室
委員・幹事 : 市長、高橋副市長、山田副市長、教育長、政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長
説明 : 議題1 いきいき生活部長、いきいき総務課長、高齢者福祉課長、高齢者福祉課地域支援担当課長、介護保険課長 議題2 文化スポーツ振興部長、スポーツ振興課長、スポーツ振興課担当課長2名

議題1 : 第7期町田市介護保険事業計画の策定について (いきいき生活部)

【付議の目的】

○第7期町田市介護保険事業計画の策定について、最終案の承認を受ける。

【提案の概要】

町田市では、2040年に高齢化率が35%を超え、高齢者1人に対し生産年齢人口が約1.5人となると予想されている。こうした中で、地域全体で支え合い、地域資源を活かし、地域の特性に応じてきめ細やかに対応する「地域包括ケアシステム」を深化・推進させていくことが重要となる。同時に、介護保険事業の安定的な運営や介護保険制度の持続可能性を確保する必要がある。

上記の背景を鑑み、介護保険法に基づき2018年度からの3年間を計画期間とする「第7期町田市介護保険事業計画」を策定する。策定にあたっては、町田市高齢者福祉計画と整合を図るとともに、市民ニーズ調査等から明らかになった課題やニーズ、第6期計画の評価、関連計画を踏まえ策定する。

本計画は、基本目標を「地域の支え合いでいきいきと暮らしている」「支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている」「よりよい介護保険サービスを適切に利用できている」の3つに定め、各目標の実現に向けて7つの基本施策を38の取組により推進する。また、保険給付の見込みと保険料について示す。

【主な意見】

○計画の周知にあたっては、計画の特徴を他市との比較を踏まえて、分かりやすく説明すること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

議題 2：(仮称) 町田市スポーツ推進計画 19-28 の策定について（文化スポーツ振興部）

【付議の目的】

○スポーツ基本法及び町田市スポーツ推進条例に基づく町田市スポーツ推進計画が 2018 年度で計画期間満了となるため、次期のスポーツ推進計画を策定する。その方向性と今後の進め方について承認を受ける。

【提案の概要】

町田市では、「町田市スポーツ推進条例」（2013 年 4 月施行）、「町田市スポーツ推進計画」（計画期間：2014～2018）（以下、「現プラン」という。）に基づく施策や取組みを推進してきたが、現プランの 3 つの成果指標はすべて未達成であった。特に、「市民のスポーツ実施率」は上昇傾向にあったが、2016 年度をピークとして 2017 年度は低下した。

一方で、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催等に伴い、町田市でも、キャンプ地招致活動や関連イベントなどを行ってきた。このスポーツの関心が高まる機会を活かした施策を検討する必要がある。

これらの現プランでの取組みの成果や課題、社会環境の変化等を踏まえ、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する「(仮称) 町田市スポーツ推進計画 19-28」（以下、「次期プラン」という。）を策定する。

策定にあたり、「町田市スポーツ施設整備構想懇談会」の提言や、「町田市スポーツ推進審議会」からの答申、市民アンケート調査での意見等を反映させる。

市民・有識者・スポーツ関係者と共に次期プランを策定することで、実効性を担保し、目指すべき将来像「スポーツで人とまちが一つになる」の実現を目指す。

【主な意見】

- 他市比較や環境変化を踏まえ、計画を策定すること。
- スポーツ推進条例の改正も視野に入れて計画策定を行うこと。
- 審議会の委員選出方法、庁内検討委員会の体制を再検討すること。
- 計画の策定にあたり、経済波及効果やブランディングを考慮すること。
- 地域スポーツ振興に向けて、地域団体や大学等との連携を進めること。
- 指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。